



令和7年11月5日
国土交通省関東地方整備局
大宮国道事務所

工事発注手続きについて

～「R7国道17号上尾電線共同溝他工事」の発注手続きを行います～

大宮国道事務所が発注する「R7国道17号上尾電線共同溝他工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7国道17号上尾電線共同溝他工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 材料単価の公表
3. 難工事指定
4. 見積活用方式
5. 余裕期間制度（フレックス方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 大宮国道事務所

電話：048-669-1200（代表） メールアドレス：ktr-oomiya-koho01@mlit.go.jp

副所長（技） 香田（こうだ） （内線：204）

総括保全対策官 石坂（いしざか） （内線：308）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R7 国道17号上尾電線共同溝他工事
- (2) 工事場所：自) 埼玉県上尾市上町一丁目 至) 埼玉県上尾市上町二丁目
- (3) 工 期：全体工期 契約締結日の翌日から令和8年12月15日
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：アスファルト舗装工事 A 等級
- (6) 工事内容（概要）：

電線共同溝 一式 管路部 約290m 特殊部 23基
舗装工 一式

車道舗装 約1,147m²

歩道舗装 約1,001m²

排水構造物工 一式

排水構造物工 約188m

街渠柵 15箇所

縁石工 一式

縁石工 約412m

防護柵工 一式

防護柵工 約254m

区画線工 一式

区画線工 約512m

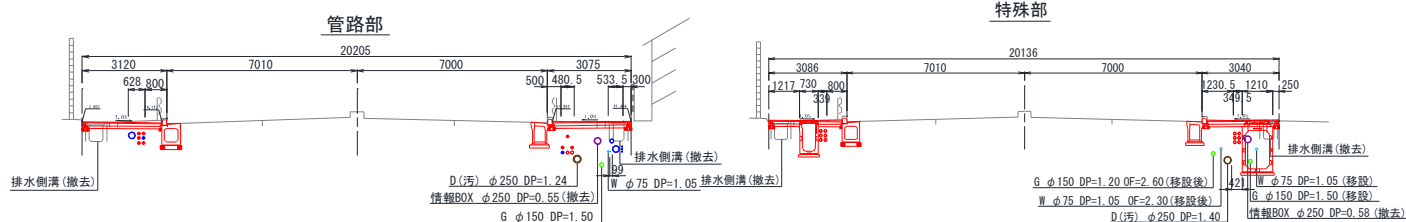
情報ボックス工 一式

埋設管撤去 約290m

■工事概要図



地図出典：地理院地図を加工して使用 (<https://maps.gsi.go.jp/>)



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 材料単価の公表

事業執行における円滑な発注及び施工体制の確保に向け特別調査（臨時調査）により設定した「主たる建設資材」の材料単価について公表を行います。

3. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道17号現道での作業となり、交通規制を行いながら歩道舗装および車道舗装の日々復旧及び電線共同溝を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

4. 見積活用方式

○見積の提出を求める工種

直接工事費のうち「舗装版破碎工」及び「構造物取壊し工」

○見積の提出を求める理由

施工にあたっては、市街地における交通量の多い現道であり、夜間の限られた時間での施工となるため、施工効率が低下することが懸念されます。このため、標準的な積算と実施価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行いたします。

5. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和8年12月15日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。また、工場製作期間を含む現場着手までの間は、監理技術者等の専任が不要となります。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	： 令和	7 年	1 1 月	5 日	(水)
○技術資料等、見積書の提出期限	： 令和	7 年	1 1 月	1 9 日	(水)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	： 令和	7 年	1 2 月	2 2 日	(月)
○開札日	： 令和	7 年	1 2 月	2 5 日	(木)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

